



# 三到図書館 ニュース

2018年4月発行  
No.82

J. F. Oberlin University Library

- ◇巻頭メッセージ
- ◇学生座談会
- ◇先輩から新入生に向けて
- ◇図書館学生イベント
- ◇読書運動プロジェクト
- ◇図書館からのお知らせ

## 📖 巻頭メッセージ

### You Are What You Read

健康福祉学群准教授 松田チャップマン与理子

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから始まる4年間の大学生活をどのように過ごそうと考えていますか？その答えはさまざまだと思います。新しい「学び」の場である大学での生活を充実させる方法の一つとして、私から皆さんにぜひお勧めしたいこと、それは「読む」習慣をつけることです。そしてその拠り所となるのは図書館です。

では、なぜ大学生活で「読む」ことが大切なのでしょう。ここではその科学的根拠を3つ紹介したいと思います。

#### 根拠1：“You Are What You Read”

この表現を訳すと、「何を読むかであなたが形成される」、つまり、「読む」ことは、私たちの人格形成に中心的な役割を果たしているという考えです。あなたが自分自身にインプットする情報があなたの思考パターンを形成し、その思考パターンがあなたの意思決定、課題の成果、他者との関わりといったアウトプットに影響を与えていると言われています。その意味では、例えば、3年生から4年生にかけて就職活動に取り組む中で自己PRやなりたい人物像を問われた時、あなたの答えは、あなたの「読む」習慣の表れであるとも言えますね。

#### 根拠2：「読む」ことは「書く」と密接に関連している。

フロリダ大学による研究では、大学で何を讀むかが「書く」能力に直接影響を与えることがわかっています。文芸作品や学術論文を幅広く読む学生は、ミステリーや画像中心の情報、あるいはwebの情報だけを読む学生よりも文章構成力が高く、自分が伝えたいことを適切に表現する能力が高いと言えます。

授業でレポート課題を提示すると、レポートがうまく書けない、どう書いて良いかわからないといった悩みをよく耳にします。質の高いレポート作成には、学

術的な文章の書き方やルールを学ぶことはもちろん、幅広くそして深く「読む」ことも必要だと言えますね。

#### 根拠3：「読む」ことにはストレス軽減の効果がある。

英国サセックス大学の心理学研究チームによる調査では、小説などの文芸作品を6分間読むだけで、ストレスレベルが約7割低下することが明らかになっています。そして、読書のリラクゼーション効果は、音楽や散歩、ビデオゲームなどよりも高いとのこと。日常生活につきもののストレスは、一概に悪いものではありません。しかし、心身ともに健康な大学生活を送るためには、上手に対処することが大切です。ストレス対処法の1つとして、小説を「読む」ことに没頭できる時間をぜひ作るように心がけてみてください。



皆さんの「読む」習慣作りをサポートしてくれる三到図書館は、国内外の文芸作品、専門書や学術雑誌を豊富に所蔵しています。私の専門である心理学分野では、電子ジャーナルやオンラインデータベースで論文を検索することが多く、学外からもアクセスできるので大変便利です。図書館の使い方や情報検索、データベースの利用法は、文献検索セミナーや図書館ツアー、ヘルプデスクなどを積極的に活用して1年生の早いうちに習得しておきましょう。

私も普段から図書館を愛用していますので、館内で見かけたらぜひ声をかけてください。

You Are What You Read！三到図書館を活用して、皆さんの桜美林大学での生活が充実したものとなりますように。

## 大学の先輩から新1年生へ 学びと成長のために大学図書館を活用しよう。



メディアでは学生の読書離れが毎年のように話題になります。全国大学生生活協同組合連合会が国公立大学の学生約1万人を対象に実施した「第52回大学生生活実態調査」(2017)でも、1日の読書時間0分の大学生が49.1%と前年度を上回る結果が出ています。

桜美林大学では、特定の分野のみならず、隣接した分野も広く学べる「学群制度」があり、異なる分野の学びを結びつける「メジャー・マイナー制度」があります。さらにグローバル人材育成、国際交流プログラム、サービス・ラーニングを重視しており、学生は大学の制度を利用して自分の学びをデザインすることができます。

しかしこの制度を十分に活用するには、自分が何かに興味・関心を持ち、多様な学びのプログラムの中から、それを学ぶための分野を自ら選択することが大切です。そのため私たち教職員は、学生が4年間を有意義に過ごすために、自分たちが居る社会の動きに目を向け、様々なものに興味や関心を持って学びを広げてほしいと思っています。

今回、学群も学年も学ぶ分野も違うけれど、様々な分野に興味や関心を持って学生生活を送っている学生たちの座談会を開催しました。

### —自分の学びと社会の関連を交えて自己紹介をお願いします—

**藤倉 優歩さん(芸術文化学群2018年3月卒業)**：私は演劇を学んでいます。演劇はいま起きている出来事を取り上げることもあるので、演劇専修の学生は社会に関心を持っている人が多いと思います。

**大倉 健洋さん(健康福祉学群2年)**：精神保健学を中心に学んでいて、将来は精神保健福祉士を目指しています。私の学びの領域は社会との関連が深いと感じています。自分にできるのはわずかなことですが、いつか貢献できたらいいなと思います。

**並木 愛さん(ビジネスマネジメント学群3年)**：流通・マーケティングを学んでいます。現代社会のグローバル競争のなかで、流通・マーケティングは日々新たな発展が必要です。私も勉強しながら社会の動きを常に意識しています。

**関 紗莉奈さん(リベラルアーツ学群4年)**：私はメジャー(主専攻)が国際経済、マイナー(副専攻)が英語のふたつを中心に学んでいます。社会の動きという点では、私は国際貿易や金融論を勉強しており、留学経験もあってTPPにも関心を持っています。

**羽鳥 雄貴さん(グローバル・コミュニケーション学群3年)**：英語を中心に学んでいます。他にはクリティカルシンキング、論理的思考も身につけたいです。日頃から積極的に外国人留学生と会話を心がけており、国際的な動きには常に目を向けています。

### —みなさんが『自分は社会の中にいる』と強く感じたことはありますか?—

**藤倉**：自分が20歳になって初めて選挙で投票した時に強く感じました。選挙権は2016年から18歳に引き下げられましたが、私は20歳になってようやく投票が出来る、おとなになって社会と関わりを持つようになったと実感しました。

**羽鳥**：同じ学群の友達と投票の話をしたら珍しがられました。選挙に行くんだ、珍しいねみたいな、ちょっとネガティブな感じが多かったです。

**関**：私は、投票に行かないって言ったら驚かれました。みんなちゃんと投票に行くんだなあと思いました。

**藤倉**：私は演劇の先生から『きみたち学生は絶対投票しろよ!』って強く言われて、選挙の後も『どうだった?ちゃんと投票した?』と念押しされました。だから周りのゼミ生なんかみんな選挙に参加していましたね。

**並木**：選挙はどの候補者に投票すればいいのかわからないし、政党の方針とか主張もわかりにくいと感じます。

**羽鳥**：インターネットで調べてもよくわからない部分が多いですね。選挙権を行使しない人はもともと関心が低いのではないかと、もっとニュースを見たり、本を読んだりすればいいと思います。それに親の影響も大きい気がします。アメリカでは小学生の頃から授業でディベートをします。テーマは様々ですが、賛成派と反対派に分かれてあるテーマをもとに議論する。日本の学校教育ではこういうことをしないので、例えば投票の権利に対する意識が高まらない原因のひとつではないでしょうか。

**大倉**：中国人の学生も「日本に暮らしているのだから投票に参加したい、でも私たちは外国人なので選挙権がない」と言っていました。いろいろ考えてしまいます。

### —みなさんは候補者や政党のマニフェストなどはどうやって調べましたか?—

**藤倉**：Twitterで政党や候補者の主張をまとめたサイトがあって、それを見たときに、ああこれならわかる!と思いました。けっこう参考になりました。

**並木**：でもTwitterのまとめサイトは果たして本当?と思います。ネットで簡単に検索できてもこれは本当なのかって思ってしまう。情報量が多すぎていったいどれが正しい情報なのか判断が難しい。

(左) 並木さん (右) 羽鳥さん 新聞を見ればわかるという意見がありましたが、うちは新聞を取っていないので。

**大倉**：候補者の選挙ポスターを見るとそれぞれの主張や政策が書いてありますね。単純ですがけっこうネットよりもリアルかも。それと新聞はいろいろな記事が



藤倉さん



(左) 並木さん (右) 羽鳥さん

まとまっているので、一覧できるところがいいです。

**羽鳥**：新聞を購読していない人もいるから、そういう人はどうすればいい？

**大倉**：それこそ大学の図書館に行けば新聞が読めますね。

**藤倉**：スマートフォンで新聞記事が読めるアプリがあります。でも有料記事と無料記事があるから、私はどうしても無料記事を読むだけで終わってしまう。

**並木**：私はお金払ってまで得たい情報というものが、まだよく分からないです。ニュースはインターネットのポータルサイトで見ることが多い。たくさんニュースが読めるけれど、お金払って見たいというものは今のところ思いつかない。

**関**：有料と無料、情報にも価値があるものとそうでないものがある。でも私たち学生は、情報は無料のほうがいいと思ってしまいますね。

### 一桜美林大学図書館にはたくさんの雑誌や新聞があります。そこからみなさんの専攻に関連する雑誌をいくつか選んできました。これらの雑誌を見た感想はいかがですか？一

**並木**：この『週刊東洋経済』には自分の専攻に関連した記事がたくさん載っています。しかも分かりやすく書いてありますね。情報はインターネットだけでなく新聞や雑誌も見て入手すべきなのかな。

**大倉**：私はメンタルヘルスに関連するサイトは見

ていますが、図書館にはこういう雑誌（『社会福祉セミナー』）もあるんですね。

**関**：私はこの『エコノミスト』を読んだことがありませんが、いま自分の学びを意識して目次を見てページ



（左）大倉さん（右）関さん

をめぐってみると、とても興味深い内容がいっぱいですね。私の専攻の国際経済に関係する記事もあって、こんな雑誌があったなんて知らなかったです。

**藤倉**：私はたいてい先生や新聞から演劇情報を入手しますが、この『シアターガイド』にはとても詳しくてまとまっていると思います。

**羽鳥**：PFC（プラネット淵野辺キャンパス）にも『留学ジャーナル』のような雑誌が読める場所があるといいです。

**大倉**：図書館にはたくさんの本や雑誌がありますが、選択肢が多すぎて正直選ぶのがたいへんです。先生も授業でおススメの本を紹介してくれるけど、あれもこれもとたくさんになると、自分でどれを選んで読めばいいのか分からない。

**藤倉**：私は先生から何でも見てみる、読んでみることに、「雑食」は大切と言われました。「違い」を知るためには視野を広げないと。

**並木**：私は友達から聞いて興味を持ったことをインターネットで検索し、ポータルサイトでは記事がテーマ別、ジャンル別になっているからそこにある記事をいくつか見る。すこしでも視野が広がります。

**羽鳥**：だけど情報を多く入手しても、それだけで視

野が広がるのでしょうか？無知だから何かを知りたくなるということもあるのでは？

**関**：しかしあまりに無知が過ぎると、自分が無知であることすらわからなくなるのではないかと思います。私は分からないことはすぐ調べるようにしているし、身近な問題こそきちんと調べて理解したほうがよいと思います。

**大倉**：自分が無知であることを自分が知っているかどうかでも違いますね。

### 一この記事を読んでいる新1年生に、大学の先輩としてメッセージをお願いします一

**羽鳥**：何事にも積極的な大学生になってほしいですね。例えば外国語のスキルアップのために自分から留学生に話しかける。そういう自分の意志が、積極性が自分を変えることができると思います。留学生と交流すると逆に日本人のコミュニケーションがよく分かる。日本人どうしたと気がつかないことを知ることができます。

**関**：大学生になったら、授業のことも含めてほとんど自分で決めなければなりません。高校生の頃は親や先生、学校がああしなさい、こうしなさいと指示してくれたり、いろいろなことを準備してくれたりしますが、大学生になったらそれは通用しません。何を学びたいのか、そのためにどの講義を履修するのか、時間割はどうするか、講義以外で学びたい時は何をすればいいのか、ほんとうに自分で決めなければならないことだらけです。桜美林大学は専攻コースがとても多いから、自分が興味や関心を持てるものを見つけ、積極的にチャレンジしてください。

**並木**：関さんが言うとおりの、高校生から大学生になると環境が大きく変わります。高校生の頃は自分のクラスでみな同じ授業を受けていたけど、大学生は個人で履修する講義を決め、活動の基準も講義単位になります。それから大学生活はほんとうに早く過ぎていきます。だからスケジュール管理を意識してください。

**大倉**：私は専門の勉強以外にボランティア活動などもしているので、スケジュール管理はとても重要です。大学生になると、誰かが与えてくれる情報を待つより、自分から何でも調べていかないと先に進まないことが増えました。そして何かが分かるとまた自分で調べようと思うようになりました。みなさんも自分から積極的に情報をキャッチしましょう。

**藤倉**：私は、それが無駄かもしれないけど、とにかく何か行動することが必要だと思います。私は演劇専修でしたが、それが就職活動に直結するわけではない。私はこの3月に卒業し、就職しますが、みなさんには「大学生活が就職活動だった」なんてことにならないように、自分が好きなものをどう活かしていくか考えてもらえたら嬉しいです。



（取材：2018年1月24日

司会・構成：図書館メディアセンター 佐々木俊介）



先輩から新入生に向けて

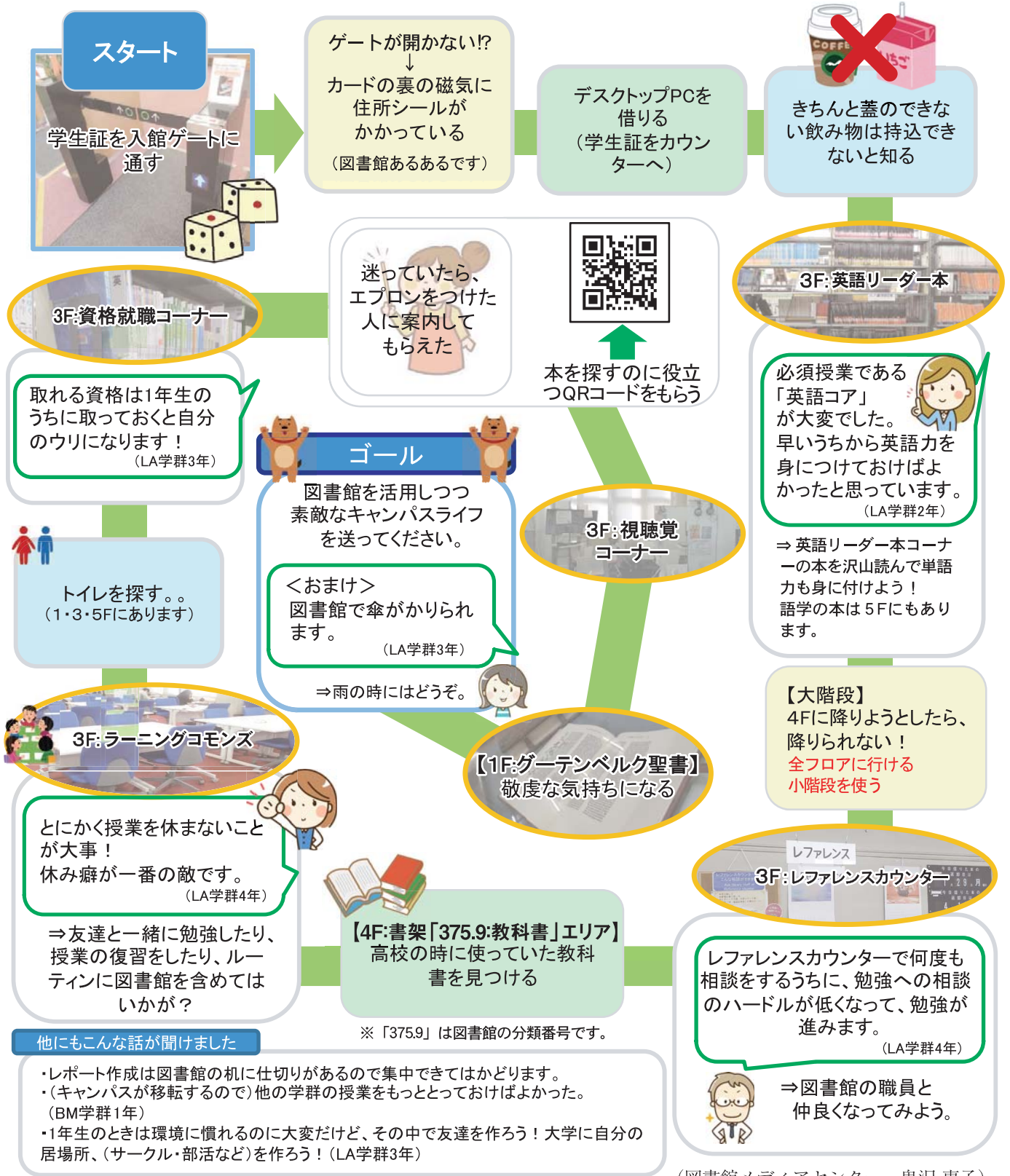
桜美林大学図書館をすゝめー図書館活用法ー

新入生の皆さん、桜美林大学へご入学おめでとうございます。

このページでは皆さんの先輩から、1年生のうちに「やっておくといいこと」「やっておけばよかったこと」等を図書館の利用方法も交えてお伝えします。実際に図書館を巡りながら、写真の場所を確認してみてください。

※LA学群…リベラルアーツ学群/BM学群…ビジネスマネジメント学群

※表記学年は2018年1月時点のものです



(図書館メディアセンター 鬼沢 恵子)



## 図書館学生イベント

## 第4回・第5回 図書館学生イベント

～学生が企画・実施するイベントをラーニングコモンズで開催～

### <秋学期の取り組み>

2017年度春学期からスタートした図書館学生イベント（三到図書館ニュース第81号、p7）を、秋学期にも2回実施しました。学生のみなさんにデータベースを啓蒙することを目的の一つとして始めた取り組みですが、データベース以外にも学生に知ってほしい資料があるという声が学生のみなさんから挙がったため、秋学期はデータベースだけにこだわらず「図書館資料の啓蒙とラーニングコモンズ活用事例の多様化を図ること」を主な目的としました。また、春学期と異なり、イベントを実施する時間帯は昼休み以外でもよいこととしました。

よって、秋学期の学生イベント企画・実施は、（1）図書館資料を啓蒙する説明会を行うこと、（2）ラーニングコモンズで実施すること、の2つの条件を踏まえて行うこととなりました。

### <イベントの準備など>

イベントを担当する学生たちは、まず、利用者にもっと知ってもらいたい、あるいは利用してもらいたいと考える図書館資料を決めるところから計画し、進捗状況の確認や広報手段の相談などで図書館職員と打合せをしつつ準備を進めました。



### <説明会の詳細>

#### 第4回 『絵本で異文化を知る～世界各国の衣服と建造物のちがいがい～』

日時：12月13日（水） 12：15～12：40  
内容：三到図書館所蔵の絵本を通して世界各国の衣服と建造物の違いを解説しました。また、絵本と関連書籍の展示・貸出を行いました。（本の展示・貸出期間：12月2日～21日）

担当者：リベラルアーツ学群3年 長津 日向子  
ビジネスマネジメント学群3年

大貫 眞帆

協力：草の根国際理解教育支援プロジェクト



絵本の展示



説明会の様子

### 第5回 『就活に役立つ新聞の世界』



日時：1月24日（水） ①13：00～14：00

（中止）、②15：00～16：00

内容：就職活動に役立つ新聞の読み方を提案する、図書館1Fの新聞バックナンバーの所蔵エリアを見学する、気になる新聞記事を選び参加者同士で内容を共有する、という3つ取り組みをワークショップ形式で行いました。



バックナンバーを選ぶ



気になる記事を発表し合う

担当者：リベラルアーツ学群2018年3月卒業  
守田 友輔

### <イベント参加者のコメント>

※アンケート、および後日の聞き取りより

- ・図書館に絵本が所蔵されていることを知らなかったが、利用してみようと思う。
- ・新聞は全ての記事を読まなければならないと思いきななか読めなかったが、気になる記事だけ探すことにすればよいという気持ちになり、気分が軽くなった。



### <担当学生からの感想、考えたことなど>

※ふりかえりレポートより抜粋

- ・人に説明することの難しさを改めて考えさせられた。
- ・一から何かを企画し、つくりあげていくという経験が出来たのは、とてもよかったことだと感じる。
- ・発表する内容の下調べ・発表の構成を考えることは一番時間を要する準備作業だった。

### <図書館からのコメント>

◆第4回図書館学生イベント…草の根プロジェクトのご協力をいただいたこと、また、説明会の実施に加え、多数の絵本と関連書籍を3Fラーニングコモンズに展示し、貸出まで手広く行ったことが大きな特徴でした。

◆第5回図書館学生イベント…就職活動を終えた4年生が自分なりの新聞の読み方を解説したこと、更に、新聞バックナンバーの部屋に行くアクティビティがあり、ユニークなワークショップとなりました。

（図書館メディアセンター 大谷 亜紀）

読書運動プロジェクト

2017年度秋学期 桜美林大学図書館読書運動プロジェクト活動報告



POP作成講座

7月30日に相模大野図書館にて「〇〇〇におすすめしたい本」というテーマでPOP作成講座を行いました。この企画は、図書館読書運動プロジェクト（以下、読プロ）のメンバーが相模原市内の中高生を対象にPOPの作り方を教えるというもので、今回は相模原中等教育学校、相模女子大学中・高等部など、合わせて27名の生徒さんが参加してくれました。参加してくれた生徒の皆さんが、一人ひとり真剣にPOPを作成してくれました。そしてこの講座で作成されたPOPは、11月下旬から12月中旬まで三到図書館で展示され、57枚のリアクションカードを書いてもらうことが出来ました。

読プロ棚

秋学期の読プロ棚は、次のように企画展示を行いました。



9月5日～11月6日	LA（リベラルアーツ学群）33専攻おすすめ本棚
9月18日～11月2日	ひとハコ図書館（LAゼミ紹介）棚 *ラーニングコモンズで実施
11月6日～1月18日	読書会イベント『星の王子さま』棚
11月6日～1月18日	クリスマス棚
1月18日～3月末	映画で学ぼう棚



クリスマス棚

9月は『LA33専攻おすすめ本棚』と同時企画として、先生が選書した『LA学群33専攻推薦図書2017』やリベラルアーツ学群（当時4年）守田友輔さんによる『ひとハコ図書館（LAゼミ紹介）棚』もラーニング・コモンズで行われました。11月は3面ある読プロ棚の1面に『読書会イベント「星の王子さま」棚』、残る2面は『クリスマス棚』を設置しました。『読書会イベント「星の王子さま」棚』にはイベントの中で行われる読書会の課題本である『星の王子さま』のみを置き、『クリスマス棚』はクリスマスに関係する料理本やDVDも置きました。また、『読書会イベント「星の王子さま」棚』では12月の「星の王子さま読書会イベント」の告知も行いました。1月には、『映画で学ぼう棚』を設置しました。



ハロウィンフェアワゴン

生協×読プロハロウィンフェア



生協と読プロのコラボ企画です。生協の各部門で人気のお菓子と、読プロメンバーが選んだハロウィンに関する本、秋の夜長に読みたい本をPOPと一緒に袋詰めにして生協で販売しました。袋詰めしていない本も置き、カートの周りをハロウィングッズで飾り付けました。お菓子とセットで買えば本を15%引きに、本のみで買う場合は10%引きにして、最終的に12セットを販売できました。



## 図書館総合展

11月に横浜のみなとみらいパシフィコ横浜で第19回図書館総合展が行われ、読プロはポスターセッションと全国学生協働サミットに参加しました。2回目の参加となるポスターのテーマは「読プロ風読書会の作り方」。ポスターをレシピ風にし、二枚の模造紙を重ね、横に閉じたり開いたりできるようにしました。上半分には用意する物・やり方を、下半分には実際行った読書会の記録を書き直して作りました。全国学生協働サミットでは、フォーラム・交流会への参加のほか、読プロの主な活動についてスピーチしました。他大学との交流やさまざまな企業・図書館のブース見学ができ、充実したひとときでした。また、初めてキャラクターグランプリにも応募し、読プロのキャラクター「トントン」がエントリーしました。



壇上でスピーチする  
読プロメンバー



ポスターセッション  
「読プロ風読書会の作り方」



トントン

## 読書マラソンコメント大賞表彰式 & 星の王子さま読書会

12月7日に読プロ主導のもと「コメント大賞表彰式」と「星の王子さま読書会」を行いました。第1部では、生協に提出されたコメントマラソンのコメントカードから投票により賞を決め表彰する表彰式を行いました。今年の大賞はペンネーム「ひろ」さんの『教団X』でした。そして第2部では、『星の王子さま』を課題本とした読書会を行いました。このイベントでは図書館館長をはじめ、図書館職員の方々、生協理事長、大学の先生方や学生さんに参加していただきました。読書会前半では4つのグループに分かれ、普段あまり聞くことが出来ない先生方や大人の人の意見を聞くことで多くの発見や多様な見方ができ、後半ではそれぞれ「自分の星」を紙に書き、グループ内でシェアしました。全体を通してとても有意義なイベントになりました。



コメント大賞のポスター



受賞者集合写真



読書会後全体の集合写真

## 読プロメンバー大募集!!

あなたも読プロに入りませんか？読プロ（桜美林大学図書館読書運動プロジェクト実行委員会）では、上記のような活動をしています。そのほかにも月に一度の読書会や一年の目玉企画である作家さんをお呼びしてのトークイベント、他大学・市立図書館と連携してのイベントなどもしています。本が好きな人、これから本を読み始めたい人、上のような企画の運営などをしてみたい人etc...。学群、学年関係なし！どんな方でもOKです。見学からでも大歓迎。少しでも興味を持った方は是非来てください。Twitterやブログもやっているのでも是非チェックしてみてください。読プロと一緒に楽しいキャンパスライフを送りましょう！

ブログ、ツイッター、フェイスブックも検索してみてください。

ブログ <http://obirin-read.jugem.jp/>

Twitterアカウント @obirin\_reading

facebook 桜美林大学図書館読書運動プロジェクト

リベラルアーツ学群2年 門山 美歌  
ビジネスマネジメント学群2年 上田 優佳



図書館からのお知らせ

図書館主催によるガイダンス一年間スケジュール



！ 学生ミニツアー

6月と10月の平日13：00～17：00の中の20分～30分間のツアー。

学生サポーターが自分の経験談も交えながら図書館を案内します。

！ 文献探索セミナー

6月と10月に開催します。学生の希望する日時に合わせます。

「OPAC検索、新聞記事検索、雑誌論文検索、レポートの書き方」の4つのコースから希望のコースを選びます。複数選択することもできます。

！ インストラクターによるデータベース講習会

EBSCOhost、LexisNexisなどの講習会。

インストラクターに来てもらって、より詳しい説明、応用技術などを伝授してもらいます。

！ 図書館で45分留学！！

昨年度好評だったので、今年度は月2回の割合で開催します。

留学先での様々なシチュエーションを想定し、ネイティブ教員による英会話を練習していきます。

留学を考えている学生のみなさんにはMUSTですよ！



「ミニツアー」ポスター



「文献探索セミナー」ポスター

！ 卒論・卒研作成支援

卒業論文や卒業研究に取り組む学生に対して、文献や情報収集のために各種のデータベースの検索方法や活用方法、情報の入手方法などを案内します。

！ 図書館学生イベント

学生による学生のための図書館イベント。

昨年度はデータベースのさまざまな利用方法の提案、所蔵絵本の紹介、就職活動に役立つ新聞の読み方、などの企画を実施しました。

！ 就職活動に役立つデータベース説明会

業界研究、企業研究、企業検索など、就職活動に役立つさまざまなオンラインデータベースのメニューを図書館職員が紹介する講習会です。

学外からもアクセスできる情報源は、自宅や外出先でも重宝します。

(図書館メディアセンター 主任 矢部 知美)

● 編集後記 ●

ここ数年スマートフォンで本を読むのは普通の光景になり、電車で本を広げる人の姿は減った。しかしAAP(米国出版社協会)によれば近年アメリカでは電子書籍の売上げが減少しているという。日本では紙の書籍や雑誌の売上げは減少傾向だが電子出版は増加傾向、また猛烈な勢いでデジタル化が進む中国では、電子書籍市場も急速に拡大している。(『出版年鑑(平成29年版)』) / アメリカの場合は値上げやデジタル疲れが減少の要因と言われるが、確実なのは、これからは情報の媒体として、紙とデジタルが共存する時代になるということだ。そして紙であれデジタルであれ、情報を「読む力」と「見つける力」が重要になるだろう。大学生になったら授業を通じて「読む力」を、図書館を使って「見つける力」を身につけてほしい。 / 新入生のみなさんが読書する人になり、更に読書する友人を増やすことで、みなさんの大学生活がより豊かなものになることを願って止まない。(S)